

# 「学級や学校の生活づくり」及び「日常の生活や学習への適応及び健康安全」の内容の特質に応じた「話し合いの活動」の事前、事後等の一連の活動過程

	学級や学校の生活づくり	日常の生活や学習への適応及び健康・安全
事前の活動	<p>教師の適切な指導の下に、児童が次の活動を行う。</p> <p>①よりよい学級や学校の生活づくりにかかわる諸問題を見付け、提案をする。</p> <p>②協力して達成したり、解決したりする共同の問題(活動)を決めて、問題意識を共有化する。</p> <p>③目標を達成したり、問題を解決したりするために、全員で話し合うべき「議題」を決める。</p> <p>④話し合いの柱や順番など、話し合い活動(学級会)の活動計画を作成する。(教師は、指導計画)</p> <p>⑤話し合うことについて考えたり、調査したりして、自分の考えをまとめるなど問題意識をもつ。</p>	<p>教師が意図的、計画的な指導構想のもとに次のようなことを行う。</p> <p>①年間指導計画において取り上げる題材についての学級の児童の問題の状況などを確認する。</p> <p>②個々の児童が共通に解決すべき問題として授業で取り上げる内容を決めて、児童に伝え、問題意識を共有化させる。</p> <p>③個々の児童が共通に解決すべき問題として「題材(名)」を決める。</p> <p>④導入、展開、終末の指導計画を作成し、事前調査をしたり、資料を作成したりする。(発達段階に即して児童の自主的な活動を取り入れるようにする)</p> <p>⑤授業において取り上げる問題について、自分の現状について考えたり、学級の現状を調べたりして問題意識をもつ。</p>
本時の活動	<p>話し合いの活動 集団討議による集団目標の集団決定</p> <p>⑥協力してよりよい学級や学校の生活をつくるために集団としての実践するための目標や方法、内容などを決める。(提案理由の理解→意見の交換→多様な意見を生かしたよりよい集団決定をする)</p>	<p>話し合いの活動 集団思考による個人目標の自己決定</p> <p>○自分の問題の状況を理解し、個人として解決するための目標や方法、内容などを決める。(問題の状況や原因の把握→解決や対処の仕方などについて共に考える→自分としての解決方法などを自己決定する)</p>
事後の活動	<p>○集団決定したことをもとに、役割を分担し、全員で協力して、目標の実現を目指す。</p> <p>○活動の成果について振り返り、評価をする。</p>	<p>○自己決定したことをもとに、個人として努力して、目標の実現を目指す。</p> <p>○努力の成果について振り返り、評価をする。</p>

児童(生徒会)会活動

クラブ活動(小学校)

学校行事

新学年の計画

係活動  
集会活動

集団目標(内容や方法)を決める



個人目標(内容や方法)を決める



学年活動の計画

集団決定

簡単な自己決定

簡単な集団決定

自己決定

朝の会などの時間

望ましい人間関係

仲良く助け合って→協力し合って  
→信頼し支え合って

社会参画・自治的能力

学級生活を楽しくする→楽しい学級生活をつくる  
→楽しく豊かな学級や学校の生活をつくる

自信・規律(学習や生活)

進んで→意欲的に→主体的に→

月

火

水

木

金

子どもたちの規律をつくり、生活づくりを充実させるためには、朝の時間の活用が重要

朝15分	短学活(学級での指導)・児童朝会など	朝読書など	計画委員会・係活動など	人間関係プログラムなど	漢字や計算など
1	1	7	12	18 学級活動	23
2	2	8	13	19	24
3	3	9	14	20	25
4	4	10	15	21	26
昼休み					
掃除	5校時の後に15分間の時間帯を設定し、週に3日60分授業をつくる				
5	5	11	16	22	27
15分	60分授業	代表委員会	60分授業	クラブ活動3 委員会活動1	60分授業
6	6		17		裁量

月

火

水

木

金

子どもたちの規律をつくり、生活づくりを充実させるためには、朝の時間の活用が

重要

朝15分

短学活(学級での指導)・児童朝会など

60分授業

計画委員会・係活動など

60分授業

朝読書など

1

2

3

4

昼

掃除

5

6

朝の時間のうち、週2回を1時間目とあわせて60分授業とする。

週に一度清掃をやめて、5時間目とあわせて60分授業とする。

代表委員会

60分授業

クラブ活動3  
委員会活動1

